

(様式5)

調査報告書

訪問調査日	平成19年8月30日
調査実施の時間	開始 10時 00分 ~ 終了 15時 20分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム ソシアス此花春日出 (大阪府)
-------------------	----------------------------

外部評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

評価調査員の氏名	氏名 日野和臣
	氏名 井上三枝子
事業所側対応者	職名 リーダー
	氏名 渡邊順子 ヒアリングを行った職員数 (3)人

記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。

項目番号について

外部評価項目は30項目です。
「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年9月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2772800526
法人名	医療法人 全人会
事業所名	グループホーム ソシアス此花春日出
所在地	大阪市此花区春日出北2丁目14-2 (電話) 06-6467-1771
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ 大阪支店
所在地	大阪市中央区本町4-4-24住友生命本町第2ビル3階
訪問調査日	

【情報提供票より】(平成19年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 11月 1日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	18人 常勤 4人, 非常勤 14人, 常勤換算16.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	3階建ての 2~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	37,800円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,470円		

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	4	要介護2		3	
要介護3	7	要介護4		3	
要介護5	1	要支援2		0	
年齢	平均 83.8歳	最低	69歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人全人会 谷本大島橋診療所・社会福祉法人 大阪暁明館病院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームであり、併設されているデイサービスセンターやその他の介護サービスも提供しており、包括的に地域での高齢者福祉に貢献すべく、サービス提供体制が整えられている。提携医療機関の医師や看護師の往診を日々受けることが可能であり、入居者にとっては安心して過ごすことができる環境にあると思われる。ホームはアーケードのある商店街に隣接している為、比較的天候に影響されることなく、散歩や買い物を楽しむ機会が確保されており、入居者が気分転換を図る上で、立地的にも良い。今後、事業所での成果を地域住民に向けて更に活かされることを期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題と今後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	家庭的な共有空間づくり、入居者一人ひとりの尊重、排泄時の不安や羞恥心等への配慮、継続的な研修の受講が改善課題として挙げられたが、特に、職員の育成計画及びその実施に改善への取り組みがなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、主にユニットリーダーが中心となり実施している。自己評価や外部評価を実施することを、日々の業務を振り返る機会としてとらえ、また、昨年実施した外部評価での指摘事項に関しても、現状を確認しながら、改善に向けて取り組んでいる
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	社会福祉協議会職員、民生委員、入居者及び家族代表、ホーム管理者等の参加により、2回開催されている。その席では、ホームの状況説明や社協側からの取り組みの報告が行われ、また質疑応答による意見交換がなされている。今後は、頂いた意見等を検証し、地域に根付いた活動をしたいと考えている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族来訪時等に接点を持ち、要望の聞き出しに努めている。また、意見を表出して頂けるよう場面づくりにも配慮している。家族から要望があった場合はその都度解決するように努めている。今後は、ホーム便りを発行することで、更に情報を発信し、意見を頂戴したいと考えている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	近隣の商店街の行事や小学校で行われる生涯学習に参加することで、交流する機会を確保している。近隣の図書館等も度々利用している。また、ボランティアの受け入れや保育園児が毎年来訪する機会もある。今後、ホームでの知識や経験を地域に還元したいと考えている。

2. 調査報告書

主任調査員氏名：日野和臣 / 同行調査員氏名：井上三枝子

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営母体が医療法人であり、地域の医療と介護両面で、高齢者福祉の向上に資することを目的とした理念が掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月行われる会議等の機会において、理事長より直接、理念に関わる話がなされている。また、日常の介護場面においても、ケアにつながる様に、管理者から指導がなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の商店街の行事や小学校で行われる生涯学習に参加することで、交流する機会を確保している。また、ボランティアの受け入れや保育園児が毎年来訪する機会もある。今後、ホームでの知識や経験を地域に還元したい考えも示されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価を実施することを、業務の振り返る機会と取られ、また、昨年実施した外部評価での指摘事項に関しても、現状を確認しながら、改善に向けてひとつずつ取り組んでいる。		自己評価及び外部評価を通じて、見いだされた課題に関して、具体的な改善計画を立て、その実施と検証を継続されることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>社会福祉協議会職員、民生委員、入居者及び家族代表、ホーム管理者等の参加により、2回開催されている。その席では、ホームの状況説明や社協側からの取り組み報告が行われ、また質疑応答による意見交換がなされている。</p>		<p>運営推進会議は、制度的には2ヶ月に1回以上の開催が求められている。更に積極的に開催することで、ホームの状況を理解してもらいつつ、要望や助言を頂けるよう活動されることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護認定調査申請を行う際に、窓口担当者と連絡をとることでの接点はある。以前は、安心サポートを利用していた経緯もある。</p>		<p>運営や現場の状況等を伝える機会を作り、共有しながら、課題解決を図る取り組みが大切である。今後更に、協働関係作りを積極的に行われることを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪も比較的に多くある為、その際に家族に時間を頂戴し、近況報告を行うように努めている。また、行事予定等を連絡すると共に、入居者の様子を伝える為の手紙を出す試みを行っている。ホーム便りの発行も検討中である。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来訪時等に接点を持ち、要望の聞き出しに努めている。また、意見を表出して頂けるよう場面づくりにも配慮している。家族から要望があった場合はその都度検討し、サービスに結びつけるように努めている。</p>		<p>家族等からの意見を事業運営に反映させる為の手段として家族会を開かれるホームもあり、更に意見を表しやすい機会づくりをすすめられることを期待したい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>同法人内事業所間での異動もあるが、最小限に抑えられている。また職員の離職も他のグループホームと比較して少ない状況にあるが、離職時においては入居者へのダメージを少しでも抑えられるようにシフト等に配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者及びリーダークラスの法人内研修は定期的に行われている。また、新入社員向け研修プログラムが作成されており、現任者の内部研修計画も立案中であり、更に確立した機会を確保する為の取り組みが始められている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内で、他にグループホームを運営しており、他種別の介護サービス提供もあり、研修等の機会を通じて、質向上に向けて取り組みがなされている。また、大阪市グループホームネットワークに加入予定であり、同業者との交流を拡げたい考えを示されている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人及び家族との相談により、入居して頂いている。入居直後は、少しでも早くホームに馴染んで頂くために、これまでの生活に関わることを始めとして、傾聴の姿勢を示すように努めている。</p>		<p>利用者一人ひとりが安心してサービスを利用できるよう、柔軟に支援してゆく体制づくりの手段として、体験入居や短期利用共同生活介護等の導入を検討されることが望まれる。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>身体状況を確認しながら、日常的な掃除、洗濯たみ、食事準備を共に行うことを心掛けている。また、入居者の過去の経験や知識等を職員が学ぶ機会もあり、時には入居者のいたわりの配慮を感じることもある。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常会話や時にはゆっくりと話しのできる時間を設けることで、入居者の意向等を把握するように努めている。意思決定の難しい方の気持ちを把握することは困難な部分があるが、職員間で共有するよう努めている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成時には入居者本人及び家族の意見が反映出来るように、確認をしっかりと行っている。また、定期的なケアカンファレンスを通じて得た情報を活かしつつ、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとの見直しを基本としつつ、状況変化に応じた介護計画の作成を行っている。現在、計画作成担当者を中心として更に効果的なプラン見直しの方法も合わせて検証している。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療法人が母体であるため、他のホームと比較しても柔軟な医療面での支援が可能となっており、多種の介護サービス事業を提供しているため、必要時に連携が可能な状況にある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者及び家族の希望を優先して、医療面での支援を受けることが出来るように配慮している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの看取り介護の指針を示し、入居者本人及び家族に同意を得ると同時に、医師と相談しながら、ホーム内で出来る介護を実践している。今後、更に介護職員の対応面での向上を図りたい考えを示されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会等の機会において、接遇に関わることも題材として取り上げ、職員の意識向上を図るための取り組みがなされている。また、管理者より個別指導を行うケースもある。		職員が入居者に向けて発している言葉の内容や語調等が、入居者の誇りを傷つけたり、プライバシーを損ねるようになっていないか、常に確認と改善に向けた取り組みが必要であると思われる。特に人前での介護や誘導の声かけに関して、更に注意を払うことを期待したい。面会簿等の個人情報の取り扱いについても検討頂きたい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムに配慮しながら、起床や食事、入浴等について、本人のペースで行えるように柔軟に対応している。また、出来る限り、散歩や買い物等の外出支援も希望に添える様に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立づくりや食材の手配は提携の給食会社からの協力を得ているが、調理から片付けの過程の中で、利用者の力を活かしつつ、食事を楽しめる様に配慮している。おやつ等の材料購入や調理を行うこともある。給食会社にホーム側の意向を伝える取り組みもなされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望を最優先し、時間や回数等、柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯干しや編み物や調理等、また趣味に関してもホーム内で現状継続できるものに対する支援を行うことで役割を持つつつ、楽しみながら生活を続けて頂ける様に努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や屋上での体操を日課として、外の空気を吸いながら気分展開を図れるように努めている。買い物や時には喫茶店に行くことで外出する機会を確保している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各階の移動はエレベーターを利用するが、ユニット玄関や建物1階部分の共有玄関も開錠されており、入居者の心理的圧迫感への配慮がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に1～2回程度、避難訓練等を実施しており、非常事態に備えている。消防計画やマニュアルも整備されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>日々、食事摂取及び水分摂取を確認することで、必要量を確保するための援助がなされている。食事形態への配慮もある。また、体重測定も定期的に行い、管理されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間における不快な音や光は感じることはない。共用空間の備品設置も入居者の身体状況を鑑みて、ユニットごとに配置を変える配慮がある。テーブルやソファ、テレビ等の配置がある。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内には、入居者がこれまでに使い慣れた家具や装飾品等が持ち込まれ、各居室の独自性があり、安心して過ごせる環境づくりへの配慮が見受けられる。</p>		

は、重点項目。